

平成 30 年 07 月 13 日
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社

第 30 回 ディズニー・チャンネル/ディズニーXD 放送番組審議会議事録

- ・日時 平成 30 年 06 月 18 日(月) 14:45～15:30
- ・場所 東京都港区虎ノ門 1-23-1
ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社 27 階会議室
- ・出席者 審議委員総数 8 名
出席審議委員数 8 名

(出席委員名)

- 委員長 山田 顕喜 (日本大学芸術学部映画学科元教授)
- 副委員長 前田 耕作 (生涯教育新聞社代表)
- 委員 阿部 京子 (ナレーター・キャスター・(有)タイムリーオフィス代表)
- 委員 木下 美子 (元青山学院初等部英語教諭)
- 委員 三枝 幹夫 ((株)オリコン ME WEB 編集本部 ORICON NEWS 編集部 編集長)
- 委員 土屋 礼子 (朝日新聞社企画事業本部 本部長補佐)
- 委員 名越 康文 (精神科医・評論家)
- 委員 藤田 興彦 (公益法人児童育成協会理事長)

ディズニー・チャンネル

(衛星機関放送事業者：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社)

番組供給事業者：ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社)

ディズニーXD

(番組供給事業者：ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社)

アイリーン・ハンベルガー (編成 ディレクター)

藤 慶英 (メディア戦略 シニアマネージャー)

竹内 文吾 (編成 マネージャー)

黒木 建州 (編成 マネージャー)

待鳥 雅之 (編成 アシスタント・マネージャー)

- ・議題 (1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD の番組編成について
(2) 審議番組「アンディ・マック」「ダックテイルズ」について

・議事内容

(以下、* : 委員からの意見・質問、→ : ディズニーの説明・回答)

(1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD の番組編成について

→ディズニー・チャンネルでは今月の9日は、ドナルドダックの誕生日のため、ディズニーXDで放送中の『ダックテイルズ』を、この日よりディズニー・チャンネルでも放送開始する。

→『ラプンツェル サ・シリーズ』と『アバローのプリンセス エレナ』の特別編成。両タイトルとも、特別編成にて放送エピソードにはドラマチックな展開があるので、乞うご期待。

→今月から新ドラマシリーズ『レイブンのウチはチョー大変!』を放送開始。ディズニー・チャンネル開局当時から放送されていた人気ドラマ『レイブン 見えちゃってチョー大変』に登場していた高校生のレイブンが、今度はシングルマザーとなって帰ってきた、ファミリー・コメディ。

→ディズニーXDでもドナルドダック誕生日の9日に『ダックテイルズ』の10話連続放送を実施する。ちなみに『ダックテイルズ』を放送開始した2月17日には、第1話から第4話を24時間連続して放送するという新しい試みに取り組み、SNSが大いに盛り上がった。

→2015年12月より放送を開始した『スターウォーズ/反乱者たち』シリーズ最終回を放送する。

→今月は映画の特集も組んでおり、『ティーンエイジ・ミュータント・ニンジャ・タートルズ』の映画2本など含め、『アールと少年』『ベイマックス』『ドラゴンボールZ』など多数の映画作品を放送する。

(2) 審議番組「アンディ・マック」及び「ダックテイルズ」について

・「アンディ・マック」

放送概要 :

日本では2018年01月08日(月)に放送開始、アメリカでは2017年4月から放送開始。

各22分×12話

番組内容 :

13歳の誕生日を迎えたアンディ。ティーンエイジャーに仲間入りして、これからの人生に期待を胸に膨らませていた彼女に告げられたのは、年の離れた姉が実は母親だったという驚きの事実だった。それまでの平凡な人生は終わりを告げて、ジェットコースター並

みのエキサイティングな毎日が始まる。

→実は色々と事情を抱えているのはアンディの家庭だけではなく、登場人物のそれぞれが、見えない悩みや問題などを抱えている。例えば、アンディの憧れの相手であるジョナはパニック障害を抱えている。また、アンディの親友のサイラスは、ジョナのことが好きだが、その思いを打ち明けられずに悩む姿が描かれており、ディズニーの作品では子供の登場人物としては初めてのこと。これについてはアメリカでも注目された。その他、ジョナの彼女のアンバーの家庭でも、父親が失業して以来、両親の喧嘩が絶えず、家庭環境があまり良くない。

- *アンディを見て可愛いと思ったが、思春期特有の多感な時期だというのがよく分かる。
- *お姉さんが実は母親だったり、LGBTQがテーマとして取り入れられていたり、この年齢向けのドラマとしては新しい。今どきの社会を投影している。
- *こういうものが当たり前の世界で生きる子供たちが、今度どう生きるか、興味がある。
- *電動バイクに乗っていたが、電動バイクはああいう爆音を立てないのでは…？また、電動とはいえ、日本の法律では一応、公道を堂々と走れるのは、免許が取れる年齢以上からなので、海外の事情や演出とはいえ、留意しておいた方が良い。
- *この子供たちがどのように成長していくかを、知りたいし見たい。
- *主人公のアンディもアジア系と思われるが、多様性をメインテーマに据えている作品だと思った。
- *LGBTQについて触れられている点も良い。これについては最近の日本のアニメーション作品などでもその流れが見られるが、この作品の影響も受けているのではないか。男と女がそれぞれの性別らしく、という押しつけがなくなっている。
- *この作品を見て、家族って難しいと感じた。
- *母親を憎むという部分は、アメリカの作品でよくみられる要素で、この母子分離というのがカウボーイ文化の基礎となる部分。そういう意味で、憎まれ役の母親ベックスを不憫に思う。
- *子供が簡単に真実を受け入れている姿と、その展開の速さに少し違和感を持った。
- *こういった家庭の子供らしい。平気なふりをして、この受け入れがたいはずの真実を受け入れる傾向が見られる。
- *思春期の子供らしい。
- *次が楽しみで、ぜひ見たいと感じる作品。

・「ダックテイルズ」

放送概要：

2018年02月17日(土)より放送開始、レギュラー枠は毎週土曜日 18:00～など。

各 23分×25話

番組内容：

最強のダック・ファミリーが贈る、愉快的コメディ・アドベンチャー・シリーズ。大富豪のスクルージおじさんは、かつて恐れを知らないカリスマ冒険家として活躍していた。

10年ぶりに再会した甥の دونالد と、彼が育てている三つ子の ヒューイ、デューイ、ルーイ と出会ったことで、スクルージの冒険心に再び火が灯る。ダックバーグの町で巻き起こる日々の騒動や、財宝を捜しに彼らが世界各地をめぐる冒険をユーモアたっぷりに描いた内容。

- * دونالد は、もっとほのぼのしたキャラクターなのかと想像していたが、「キュートな」キャラクターと説明がありながら、結構キツイ顔をしていて、怒ったりとかする。子どもたちは怖がったりしないだろうか？
- * Donald だからこそワイルドなことができると思う。これこそが本来の彼のキャラクターで、ミッキーと異なる点。
- * Donald の声が聞き取りにくいと感じた。
- * 彼の声は、効果音のようなものとして聞き入れるとよい。
- * 子どもたちは喜んでる。音として認識しているようだ。どうして笑っているのかと聞いてみたら、「だって音が面白いから」と答えた。
- * どうせなら、彼にまともな台詞をしゃべらせないで、効果音と同じような扱いにして、代わりに、周りのキャラクターに状況や Donald の気持ちを「通訳」させるのはどうだろうか。
- * 偏屈なスクルージおじさんが、元々の設定と比較すると、ずいぶん若いと感じた。もう少し初老感があっても良かった。
- * 3兄弟の個性もしっかりしていて、劣化しないキャラクター性が魅力的だ。
- * 面白さに期待が持てる。



- ・ 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日：
今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた平成 30 年 6 月 18 日以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で、活用し、さらなる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。
- ・ 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日：
平成 30 年 7 月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上